

5/2
玉置

組合健保が最高料率

健康保険組合が保険者との健保（組合健保）の20.1%（同7.7%）。平均保険料8年度の平均保険料率が9.215%と11年連続で増え、過去最高となりました。健康保険組合連合会（健保連）がこのほど発表した、加入組合の予算に関する集計結果でわかりました。

組合健保は、主に大企業の従業員が加入しています。集計結果は、全国1389組合のうち回答のあった1372組合のデータを基に推計したものです。

それによると、保険料率を

引き上げた組合は172組合（回答組合の12.5%）で、

引き下げる組合は106組合（同7.7%）。平均保険料率は、前年度比0.051%増の9.215%となりました。その結果、組合健保の被保険者1人あたりの保険料は年約24万3千円となり、前年度より年約1500円増える見込みです。

18年度の経常収入は8兆2100億円で、経常支出は8兆35576億円と支出超過（赤字）となると推計。支出超過となる組合は800組合で回答組合の62.3%を占め